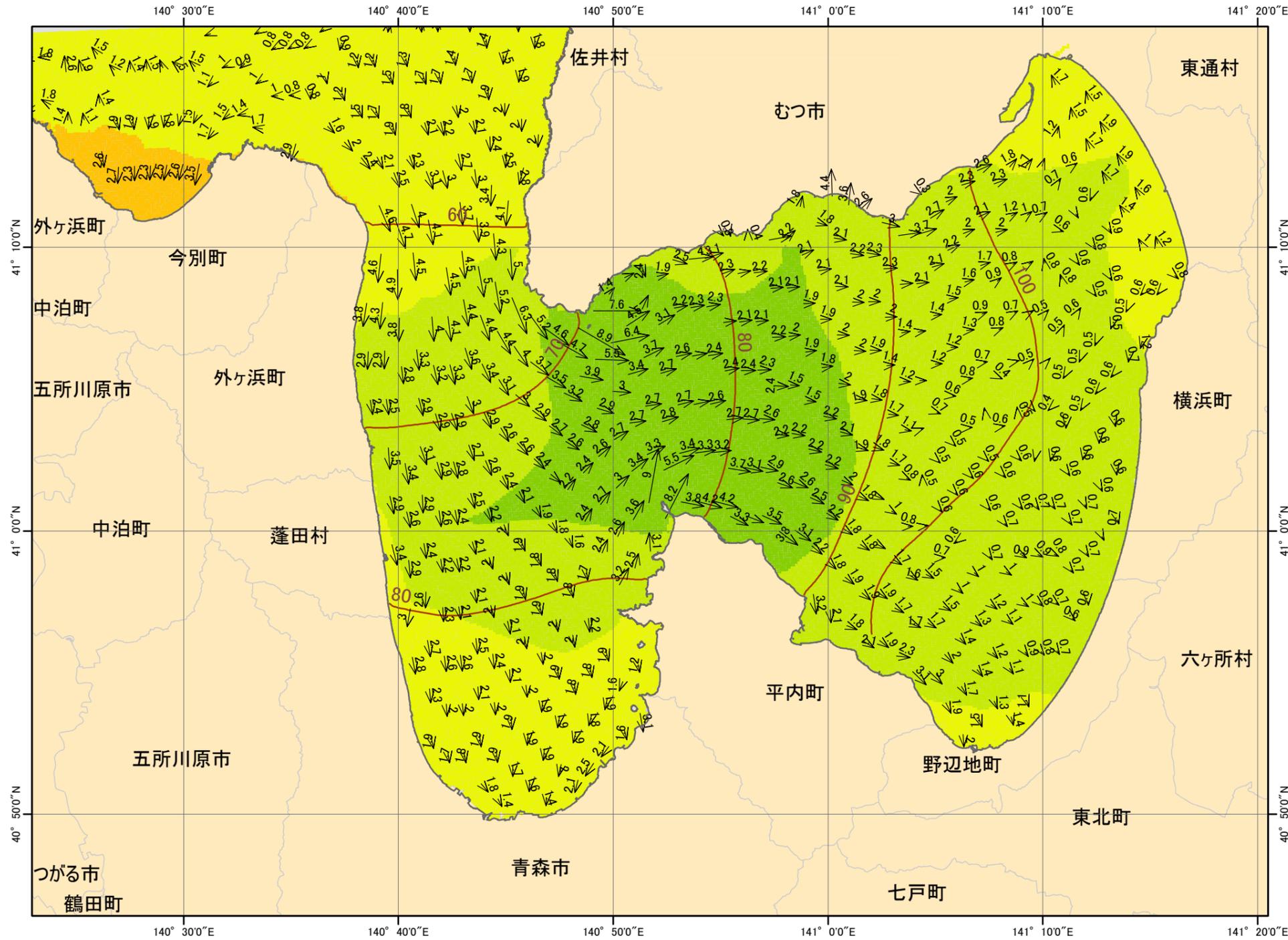




座標系:メルカトル図法  
測地系:世界測地系(WGS84)

計算条件: 最高水面(零位)  
隆起量: 平均 -0.76m(-1.79m ~ -0.24m)  
Zo: 0.37m  
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

最大水位上昇

- 5m以上
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

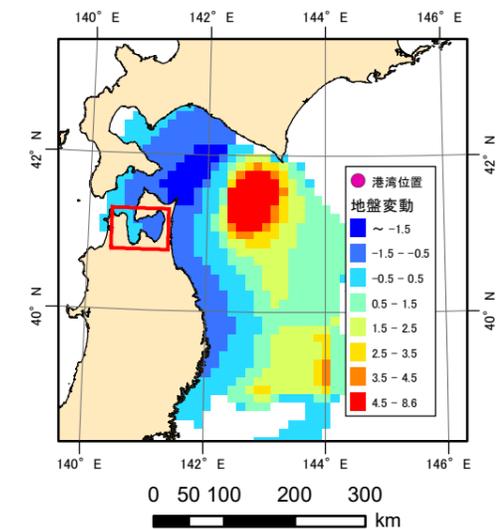
— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

進入時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

断層モデル



日本海溝(三陸・日高沖)モデル

モーメントマグニチュード Mw	9.1
-----------------	-----

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム(ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
  - ・海上保安庁が保有する水深データ
  - ・国土交通省数値情報(ダウンロードサイト <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html> (2021年8月2日取得))

